

# 高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に  
相談にのる税務・財務のスペシャリストです

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19-202

電話番号：072-683-0230 FAX：072 - 683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：[info@gishitax.com](mailto:info@gishitax.com)

お気軽にお問い合わせ下さい 072-683-0230

(JR 高槻駅・阪急高槻市駅から徒歩約3分)



【コラム】シチズン時計の時間に関する調査によれば、「すぐに処理」と言われたら約5割の人が「10分以内」を想定し、次いで「30分」という結果でした。時間の感覚は人それぞれでも信頼関係を左右する大事なポイントです。「すぐに対応してほしい」と言われたら極力10分以内、遅くとも30分以内を目安に行動したいも

## 【税の歴史をさかのぼってみましょう！】

飛鳥時代の701年に完成した大宝律令では、「耕地の広さに応じて稲を納める税」や「その土地の特産物を納める税」など、租・庸・調という税の仕組みができました。室町時代は米などの年貢が税の中心でした。また、街道に設けられた関所では、通行税の関銭などが税として課せられました。安土桃山時代は豊臣秀吉が太閤検地を行い、農地の面積だけでなく収穫高なども調べて年貢を納めさせるようになりました。

江戸時代には、当時の営業税や営業免許税にあたる運上金・冥加金を、商工業者などに課税するようにになりました。明治時代になると政府は、歳入の安定を図るために地租改正を実施しました。地券を発行して土地の所有者を確定し納税義務を課しました。そして、課税の基準を従来の収穫量から地価に改め、地租として貨幣で納めるようにしました。また、所得税や法人税が導入されたのもこの頃です。



現在ある税の仕組みができたのは大正時代から昭和初期にかけてで、1940年(昭和十五年)には源泉徴収制度が採用されました。1989年(平成元年)には消費税が導入されます。当初の税率は3%でしたが1997年には5%に、そして2014年の今年に8%となりました。このように税の制度は、社会の変化にとまねい変わってきました。そして、これからまた変わっていくことでしょう。

## 【スピード時代で疲れた心と体が求める「ポタリング」】

自転車に乗ってのんびり散歩を楽しむ「ポタリング」が静かな流行です。長距離を走るサイクリングと違い、景色を眺めたり四季の移ろいを感じたり、語源の英語「putter」の意味通り「ぶらつく」のが目的です。俗に言う「ママチャリ」があれば誰でも手軽に始められ、ストレス解消や体力づくりに最適です。また、レンタルサイクルと合わせて専用コースを設けている観光地も増えているとか。心と体、そして地球にも優しいポタリングのブームはのんびり続きそうです。



【今月の教えてキーワード：合計特殊出生率】

一人の女性が生涯に生むとされる子どもの数。15～49歳までを女性の出産期と想定し、その年齢別出生率を合計して算出する。1975年に2を割ってから低下傾向が続き、2005年には過去最低の1.26まで下がった。2013年は1.43で前年の1.41から微増となったが、40歳以降の「第一子出生率」も高めとなるなど、今後も少子化が続くと見られる。日本が長期的に人口を維持するのに必要な数値は2.07とされている。

【「今」に最善を尽くす】

経済は感情で動くといわれます。また、世界情勢も感情で動くといわれます。なぜなら人が感情で動くからです。商売にもやはり感情が入り込みます。例えば同じ失敗をしても許される人と責め



られる人がいるのは、受け取る側の「好き嫌い」や「たまたまの気分」による場所も大きいでしょう。

取引相手の気分によって商売に不利益がもたらされるのは残念な話ですが、あなたの感情も商売相手に影響を及ぼ

しているかもしれません。仕事に私情は禁物だという意見はごもっともです。しかし、実際は商売の様々な場面で多少なりとも感情が影響を及ぼし、しかもその割合は決して小さくないようです。たとえ無意識でも感情に左右されるのはお互い様。それを理解した上で商売のやり方を見直すと、自分だけで決着する事柄は思いのほか少ないことに気付くでしょう。つまり商売では、相手にゆだねなくてはならない部分がけっこう多いということです。経営者の中には、何から何まで自分でコントロールしないと気が済まないタイプの人がありますが、相手にゆだねる部分がある以上、すべてをコントロールするのはなかなか難しいものです。なぜなら人の感情をコントロールするのは、売上げを伸ばすこととはまた別の能力だからです。また、すべてに全力投球する姿勢は素晴らしいことだと思いますが、自分の「感情」というボールを常に相手に全力投球することが必ずしもよい仕事につながるとは限りません。相手の真意を探るためにおどけたふりをしたり、相手に花を持たせるためにあえて7割のところをやめたりといったことが必要な場面も多々あります。相手の感情をコントロールするより、感情の影響力を最小限にとどめる工夫をする。常に最強で行こうとするより、「今」に最善を尽くす。それがよい仕事につながっていくのではないのでしょうか。

目の前の仕事や出来事に意識を向けて、今の状況に最も適した判断と行動をすることで、移ろいやすい感情に振り回されることなく、自分自身のブレない軸をしっかりと持ち続けていきましょう。

今を生きる  
先人の言葉

時間の守れん人間は  
何をやってもダメだ

第64・65代の内閣総理大臣である田中角栄の言葉。待ち合わせ場所に10分遅刻すれば、自らの信用を失うだけでなく相手の人生の貴重な10分も奪うことになる。



サラリーマン妻  
のーパ一理け(涼しい)  
よがーのど料  
ねないレ料  
)

エコーカーテン  
ゴーヤ  
料理に  
行き詰まる